

# 会報 かなざわ

第81号 平成26年10月発行

発行所 一般社団法人 金沢建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23

TEL (076)244-1848 FAX (076)242-4331

HP <http://www.kanakenkyo.or.jp>

E-mail [info@kanakenkyo.or.jp](mailto:info@kanakenkyo.or.jp)



## 第81号 主な内容

平成26年度定時総会開催	2	平成26年度第三回中堅・若手(技術)社員研修会	17
優良役員・従業員表彰	7	金沢市立工業高等学校デュアルシステムに協力	17
平成26年度金沢市幹部職員と金沢建設業協会土木部会との意見交換会	9	入札制度等説明会の開催	19
建築部会全体会	10	献血奉仕活動	19
県央土木総合事務所(幹部職員)との意見交換会	11	協会・組合合同新年会	20
土木部会全体会	11	青年委員会の活動	21
平成26年度第一回中堅・若手(技術)社員研修会	12	・青年委員会全大会	
平成26年度BCP訓練	12	・まちなか協働パトロール強化週間合同パトロール	
平成26年度災害対策会議の開催	13	・平成26年度金沢市防災合同パトロール	
金沢市へ事業継続計画(BCP)提出	13	・森づくり実践活動2014植樹活動	
石川県へ事業継続計画(BCP)提出	14	・市民防災訓練の視察	
クリーン・ビーチいしかわinかなざわ(海岸清掃ボランティア)	14	・平成26年度消火技術競技大会	
平成26年度第二回中堅・若手(技術)社員研修会	15	第26回土木・建築部会合同懇親ゴルフ会	26
第36回測量コンテストに参加	15	第20回(一社)石川県建設業協会ボウリング大会	27
第36回測量コンテスト表彰式	16	協会員の異動(平成25年10月~26年10月)	28
		協会の動き(平成25年10月~26年10月下旬)	29
		事務局よりのお知らせ	32

## 平成26年度定時総会開催

一般社団法人金沢建設業協会の『平成26年度定時総会』が、5月23日(金)午後2時30分から石川県建設総合センター7階大ホールで開催されました。総会は、会員88名のうち委任状を含めて63名が出席し、平櫻保協会長の開会の挨拶に続き、定款第17条第1項の規定により平櫻会長が議長に就き、議長は定款第21条第2項の規定に基づく議事録署名人に岡昌弘氏と岡田康晴氏を指名した後、本総会は新定款に基づき議事を進めることを説明し、また、今回上程されている議決事項と報告事項はそれぞれ関連があるため、一部の議事について一括審議する旨を説明した後、直ちに議事の審議に入りました。

はじめに、第1号議案「平成25年度決算承認の件」及び第1号報告「平成25年度事業報告の件」は関連があるため、これを一括上程する旨を説明し、この2件は定款第39条の規定に基づき、過日開催された理事会で承認を受けていることを述べ、事務局に説明を求め終了後、監事の監査報告を受け、その後、議場に質問、意見を問いましたが特に質問、意見は無く、いずれも原案のとおり決議、承認されました。

次に第2号報告「公益目的支出計画実施報告の件」についても第1号議案と関連があるため、上程する旨を述べ、事務局に説明を求め、終了後、監事の監査報告を受け、その後、議場に質問、意見を問いましたが特に質問、意見は無く、原案のとおり承認されました。

次に第2号議案「理事選任の件」を上程する旨を述べ、現理事は本定時総会の終結と同時に満了退任となるため、後任の理事選任について、定款第23条及び第26条の規定に基づきその選出を議場に諮ったところ、「議長一任の声」があったため、理事候補者を事務局に説明させた後、議場に賛否を問いましたが、全員異議無く満場一致をもって次の方々が当選人として決議されました。

平櫻保	竹腰勇ノ介	連友也
橋本和雄	末田廣昭	山田外志雄
小柳正彦	岡田康晴	澤田剛
鶴山庄市	道下幸雄	和泉康夫
岡昌弘	水内健之	明翫圭祐
荒木進	本田正敏	松野勉
高田直人	坂東久雄	大田茂
野村陽逸	藤内拓朗	馬場悦夫
長坂知通	田上淳一	

次に第3号議案「監事選任の件」を上程する旨を述べ、現監事は本定時総会の終結と同時に満了退任となるため、後任の監事選任について、定款第23条及び第26条の規定に基づきその選出を議場に諮ったところ、「議長一任の声」があったため、監事候補者を事務局に説明させた後、議場に賛否を問いましたが、全員異議無く満場一致をもって次の方々が当選人として決議されました。

北川隆明	豊蔵享一	五天秀行
------	------	------

次に第3号報告「平成26年度事業計画の件」及び第4号報告「平成26年度収支予算の件」は関連があるため、これを一括上程する旨を説明し、定款第38条の規定に基づき、過日開催された理事会で決議を受けていることを述べ、事務局に説明させた後、議場に質問、意見を問いましたが特に質問、意見は無く、いずれも原案のとおり承認されました。

なお、第3号報告では冒頭で、今年度は公共工事品質管理確保の促進に関する法律の一部改正が予定されており、その中で「発注者の責務」が明確化され、「予定価格や工期の適正な設定」「計画的な発注」「変更の確実な対応」など受注企業の適正利益計上に繋がると期待していること、改正後は発注者に対し、確実に実行していただくよう働きかけて行くこと、また、建設産業の使命として、社会資本の整備、維持や管理は勿論、災害時の応急対策として地域住民の安全・安心を確保することが求められていることから、当協会では既に「災害時の応急対策」に関する協定を石川県・金沢市と締結し、地域の安心な生活の維持に貢献することとしており、その実効性を高めるべく、平成21年より協会事業継続計画（BCP）の策定に取組み、昨年度に締結先である金沢市および石川県へ計画書を提出し、今後は定期的な訓練を実施し、協会企業と連携し、迅速に災害応急対応を実施することで社会的な責任を果たして行くこと等について説明しました。

すべての議事終了後、別室において、本定時総会で決議された理事の役職を選定する理事会が開催され、次のとおり、それぞれの役員人事が決議され、一同に発表されました。

会 長	平櫻 保（再任）	理事	水内健之（再任）
副会長	橋本和雄（再任）	理事	本田正敏（再任）
副会長	小柳正彦（再任）	理事	坂東久雄（再任）
常任理事	鶴山庄市（再任）	理事	藤内拓朗（再任）
常任理事	岡 昌弘（再任）	理事	田上淳一（再任）
常任理事	荒木 進（再任）	理事	連 友也（再任）
常任理事	高田直人（再任）	理事	山田外志雄（再任）
常任理事	野村陽逸（再任）	理事	澤田 剛（再任）
常任理事	長坂知通（再任）	理事	和泉康夫（新任）
常任理事	竹腰勇ノ介（再任）	理事	明翫圭祐（新任）
常任理事	末田廣昭（再任）	理事	松野 勉（新任）
常任理事	岡田康晴（再任）		
常任理事	道下幸雄（新任）		
専務理事	大田 茂（新任）		
常務理事	馬場悦夫（再任）		

なお、本総会をもって退任された理事及び監事は次の方々です。

常任理事	豊蔵世紀	監事	和泉康夫
常任理事	北川 真	監事	明翫圭祐
専務理事	坂戸正治		

役員人事の発表後、優良従業員表彰として功労の10名及び永年勤続の11名の方々に平櫻協会長より、表彰状と記念品が贈呈されました。また退任理事の方々には感謝状が贈呈され、閉会しました。



平櫻会長の挨拶



定時総会風景

#### ◆◆平成26年度 事業計画◆◆

当協会は平成25年4月1日に社団法人から一般社団法人へ移行し一年が経過しました。この間、新たな事業目標のもと、協会員皆様のご協力を頂き、協会運営を執行して参りましたが概ね達成することができました。

さて、昨年は新内閣が掲げた経済施策としての「アベノミクス」や日銀が目標に掲げた2%のインフレ対策、さらには我々建設業界が担ってきた消費の拡大などにより、その効果が徐々に表れてきています。

加えて、公共事業の15ヶ月予算編成など大幅に増加した公共事業の発注や、公共工事設計労務単価の2度にわたる引き上げ、さらには最低制限価格の見直しなど、明るい兆しが見えてきました。

ところで、当協会の近年の収支状況ですが、これまでの公共事業の縮減の影響を受け、剰余金を取り崩す経営を余儀なくされています。一昨年には青年委員会より運営改善の提案を受け、昨年度には総務委員会内に経営改善検討会を立ち上げ、改善に向けての議論を重ね、提言をいただきました。これを受け、今後も会費収入の増減を見極め、健全なる経営に向けた努力を継続して参ります。

次に、平成26年度事業計画の具体的項目ですが、以下の活動に取り組むこととしておりますので、協会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

##### 1. 社会資本整備の着実な実施について

近年多発している地震、集中豪雨及び大型台風の被害を鑑みるに、これまで以上に安全で安心な住み良い環境のまちづくりに向け、社会資本整備の必要性を強く訴え、公共工事の着実な実施を積極的に提案・要望を行って参ります。

##### 2. 工事発注の平準化について

企業経営の改善、合理化に資するよう、ゼロ国債、ゼロ市債による債務負担行為の拡大により、端境期の工事量確保対策として公共工事の早期発注を行い、平準化を図るよう要望を行って参ります。

### 3. 法令遵守の徹底と適正な入札・契約の実施について

公共工事に携わる我々は、「公共工事入札契約適正化法」や「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「改正独占禁止法」等の法令遵守が強く求められています。今後より一層これらの法令遵守に努めると共に、石川県、金沢市を始め関係機関に適正な運用と契約上の対等性が確保されるよう要望を行って参ります。

### 4. ダンピング防止と秩序維持について

安値受注は、人・物の価値観の下落を招くばかりでなく業界全体を疲弊させるものです。したがって、自ら招く弊害は避けるべきであり、ダンピング防止は極めて重要な課題でございます。長期的な建設投資の縮小が進められ、その上、建設コスト縮減が求められる中で、生産性の向上のための構造改革、生産システムの合理化に取り組むと共に、真にダンピング防止対策を強く要望する中で、我々も真摯に秩序維持について取り組んで行く必要があると考えます。

### 5. 工事現場における災害防止の推進について

建設労働災害の撲滅を図るため、各企業の「安全対策行動計画」に基づく自主点検実施を勧めるほか、定期的な安全パトロールの実施や各機関の労働災害防止に関する研修等により、工事現場における災害防止を推進して参ります。

### 6. 各種研修会および研究・検討会の開催について

新入社員を対象とした、社会人としての心構えや建設業における基礎知識取得のための「新入社員研修会」や、技術力向上を図るための「現場責任者研修会」及び「中堅・若手（技術）社員研修会」のほか、経営者・企業後継者を対象とする「経営者・企業後継者研修会」等の各種研修会を継続して開催して参ります。また、部会においても諸課題についての研究・検討会等を開催して参ります。

### 7. 青年委員会による活動について

当協会の目的達成、事業遂行に寄与することを目的に、青年層の自由な発想と斬新な感覚により、建設業の振興発展に関する調査・研究及び地域社会への貢献活動や地域社会とのあり方等について検討・研究を行って参ります。

### 8. 収益事業の展開について

当協会の健全経営に向け、新たな収入源として収益事業の拡大を研究して参ります。

### 9. 社会奉仕活動の実施と災害時における応急対策活動について

地域社会に対する貢献活動として、緑化、屋根雪除雪、献血の奉仕活動や赤い羽根共同募金等の支援を行うほか、石川県や金沢市等との間で締結している「災害時等における応急対策工事に関する基本協定」、「まちなか協働パトロール協定」及び「事業継続計画（BCP）」に基づき、災害時等における応急対策活動体制の強化や公共施設の不備による事故防止のための日常点検等を実施して参ります。

10. 情報提供について

「協会ホームページ」や「会報かなざわ」等を通じ、協会活動の近況を伝えて行くと共に、会員からのメッセージや関係機関の情報・資料を収集し、情報提供を行って参ります。

11. 会員相互の協調、親睦行事の実施について

会員相互の協調と親睦を図るため、ゴルフ会やボウリング大会等を実施して参ります。

12. 会議の開催について

以下の会議を適宜実施して参ります。

- (1) 総 会
- (2) 理 事 会
- (3) 常任理事会
- (4) 監 事 会
- (5) 総務委員会、奉仕委員会、青年委員会
- (6) 部 会
  - 土木部会
  - 建築部会
- (7) 石川県、金沢市および関係諸団体との連絡会議

## 優良役員・従業員表彰

### ●功労役員、従業員表彰

(金沢市優良建設工事として表彰を受けた施工者の現場責任者の方々)

表彰者氏名	対象工事名	表彰理由
中村 幸広 日本海建設(株)	卯辰山地区配水池統合事業 配水池築造工事	工事個所が風致地区に指定されているため、工事看板や安全施設などの設置に関して環境に配慮したものを使用した。施工においては、新技術を採用するなど工事目的物の品質向上を図った。
乙谷 健作 大三建設(株)	北安江出雲線橋梁下部工事 (右岸)	住宅密集地に近接し、周辺道路も狭隘であることから、大型工事車両や資材搬入などが困難であったが、周辺住民への事前周知を行うなどの確な連絡体制を整え施工した。適時的確な実施工程の検討により、事故やトラブルもなく完成させ、工事関係書類の整理も適切に行われていた。
宮前 昭 大三建設(株)	鈴見台四丁目地内 道路災害対策工事	融雪及び降雨による災害復旧工事であるため、天候への対策が重要であるなか、常に天候状況を把握し、雨量計も設置するなど、施工全般に渡り施工管理と安全対策に取り組み、施工方法に関しても積極的な提案によって完成させた。
小松 正俊 (株)駒津組	金沢市立小立野小学校改築 工事第3期 (外構工事 その2)	建築、設備工事などのピーク時においては10業者が輻輳するなか、安全協議会ではリーダー的役割を担い、各工事間の調整を積極的に行い、関連工事においても工期内完成に導いた。 また、コンクリートの延命化の新技術登録工法を積極的に採用した。
加賀 真司 鈴木建設(株)	金沢市立工業高等学校 改築工事 (外構工事 その2)	建築、設備工事などが輻輳する作業状況のなか、市監督員、学校関係者並びにその他施工業者との調整を積極的に行い、限られた施工スペースや工期のなかで、状況に応じた的確な対応によって工期内完成を行った。
松多 敏樹 (株)平本組	平成24年度米丸小学校 地下貯留施設設置工事(補助)	学校関係者との協議と現場状況によって施工内容が大幅に変更され、限られた工期のなかで、施工計画の再検討を適切に行い、工期内完成を図った。 また、現場見学会を開催し、工事の目的などを含めた公共工事のイメージアップにも寄与した。
井嶋信一郎 荒木建設(株)	卯辰山地区配水池統合事業 (24-2 工区) 送配水管布設工事	風致地区内で住宅地からも近接し、歩行者も多い狭隘な道路での工事であったが、施工順序と日時などを記載した案内パンフレットの配布や誘導看板の設置などにより、周辺住民の安全確保を図った。併せて適切な工程管理によって工期内完成を図った。また、品質管理も良好であった。
青木 健 北川建設(株)	内川第1建設発生土処理施設 造成工事	絶滅危惧種のオオタカなどが営巣する箇所での工事で、産卵期間を除いた限られた期間での工事であったが、工期短縮のための施工方法を提案し、さらに新技術を用いた品質管理を行った。また、出来形、出来映えも優れていた。
菊地 克征 (株)豊蔵組 大谷 直樹 フレックス工業(株) 特定建設工事 共同企業体	金沢市戸板小学校普通教室棟 改築工事 (建築工事)	新校舎建設に係る多数の関係業者を取りまとめ、総括的な立場で現場全体の工程及び安全管理などの調整を行い円滑な工事の遂行に大きく貢献した。 綿密に立てられた施工計画書によって、発注者からの要望に的確に対応した。また、品質管理、出来映えも良好であった。

## ●永年勤続役員、従業員表彰

(同一事業所に15年以上勤務し、勤務成績優秀で他の模範とするに相応しいとして受賞された方々)

表彰者氏名	表彰理由
青木 健 北川建設(株)	平成6年に入社以来、勤勉実直に職務を遂行し、常に自己研鑽に励む姿勢は社内における若手社員の模範となっており、信頼も厚く、担当工事においては、石川県県央土木事務所所長賞、金沢市優良建設工事施工業者表彰を受賞するなど、優秀な工事成績をおさめ、社内でも中心的な存在である。金沢市長賞受賞工事では猛禽類の営巣場所に加え、地滑り地形における複雑な地質条件のなかで砂防ソイルセメント工法により堤体を構築し、生態系への配慮と土工作业時の安全確保並びに堤体の品質管理に対して積極的な創意工夫を行った。
池村 守 石川建設工業(株)	氏は昭和55年に入社後、建設技術者として多くの施工業務に携わり、現場代理人として国土交通省北陸地方整備局長表彰を受賞するなどの実績の下、会社の発展に多大な貢献をしてきた。 また、現在はその卓越した経験を社内若手に伝承すると共に、取締役常務としての重責も真摯に努め、社員の模範として社内での信頼も厚い。
五十村 憲 沢田工業(株)	氏は昭和52年に入社後、現場一筋、技術者として多くの工事に携わってきた。特に旧建設省発注の8号細坪舗装補修工事においては優良施工管理技術者として表彰を受けるなど数多くの難工事を完成させて会社の発展に貢献してきた。社内においては安全運転管理者・品質管理責任者・総括安全衛生管理者を歴任し平成21年に取締役に就いた。その後も若手の教育や指導、安全対策の実施に力を注いでいることは社内の模範となっていて社内外ともに信頼は高く厚いものである。
北 真一 ウィルビー(株)	氏は平成4年に入社後、現場一筋、技術者として多くの工事に携わってきた。現場での作業工程における創意工夫、改良等研究心も旺盛で、その技術力も卓越しており、多くの難工事を完成させ、会社の発展に貢献してきた。また、実務経験豊かなことから、その卓越した経験を若手に伝授し、後進の育成に真剣に取り組んでいる。勤務状況、態度も極めて良好で、社内の信頼も高く、他の技術者の模範となっている。
喜多 正行 (株)小山組	氏は昭和60年に入社後、現場一筋、現場代理人、監理技術者として、多くの工事に携わってきた。現場において作業工程における創意工夫・改良等研究心も旺盛で、その技術力も卓越している。 特に監理技術者として担当した「金沢湯涌江戸村外構工事(補助)」では、金沢市優良工事表彰を受ける等、多くの難工事を完成させて、会社の発展に貢献してきた。また、実務経験豊かなことから、卓越した経験を若手社員に伝授し、後進の育成指導にも積極的に取り組んでいる。勤務状況、態度も極めて良好で、社内の信頼も高く、他の技術者の模範となっている。
越村 裕実 (株)高田組	入社以来、多くの公共工事・民間工事に携わり、誠実な人柄からその仕事ぶりは、社内・外からの評価が高く信望が厚い。 豊富な実務経験から、社内でも指導的な立場にあり、他の社員の模範となっている。新しい技術や知識の取得にも非常に積極的である。
中田 拓也 協和道路(株)	氏は平成5年度に入社後、過去20年に渡り、当社の事業の貢献してきた。 その技術者としての技量もさることながら、勤務状況、態度も極めて良好であり、当社の模範ともいべき存在である。
花野 良明 丸建道路(株)	氏は平成元年5月1日に入社し、羽咋営業所工事部主任で配属され、平成3年6月に工事課係長に就任、平成15年4月に七尾営業所工事担当課長を歴任し、同18年4月に工事課長に、平成26年4月に七尾営業所所長に任命された。 25年弱の間、現場担当者を始め部下の指導教育はもとより、確実に実績を残している。今回事業所長に就任し、これまでの経験、実績を踏まえ大きく貢献すると期待されている。
原 康博 (株)金沢舗道	入社以来、数多くの舗装の公共工事・民間工事に携わり、舗装工事に精励し誠実な人柄と責任感の強い仕事ぶりは社内外からも信頼が厚い。 豊富な現場経験と常に新しい技術や資格の取得に取り組み社内では、マネジメント管理を含め指導的な立場にあり社員の模範となっている。
東 秀一 (株)河内組	氏は、平成4年10月に入社後、現場技術者及び作業主任者として多くの工事に携わってきた。 平成19年に砂防工事で石川県知事表彰、平成25年には治山工事で石川県農林水産部長表彰を受け、その他の工事においても常に工事点数80点台の評価を受け工事を完成させてきた。 勤務状況も極めて良好で、若手の育成にも真剣に取り組んでいる。平成24年には、当社専務取締役に就任し現在も会社のために鋭意努力を重ねている。
山岸 正一 ハイウェイ・リ バーメンテナ ンス(株)	氏は昭和51年に入社、平成4年に取締役工務部長、平成13年に常務取締役、平成15年に専務取締役に就任した。 入社以来、技術者として道路及び河川並びに交通安全施設等の困難な工事も無事完成させると共に、後進の技術指導に当たり、経験豊富な技術力を惜しみなく伝授し、多くの技術者を育て建設技術の向上に大きく貢献している。勤務状況も大変良く、部下からの信頼も厚く模範となっている。



功劳役員、永年勤続役員、従業員表彰

## 平成26年度金沢市幹部職員と 金沢建設業協会土木部会との意見交換会

5月29日(木)午前10時から金沢市役所で、市から野口都市整備局長、西川土木局長、長谷川企業局建設部長をはじめ幹部職員16名及び当協会から岡田土木部会長はじめ運営委員33名が参加し、諸課題についての意見交換会が開催されました。

会議の冒頭、岡田土木部会長から「アベノミクスにより我々業界にまで恩恵をこうむっている。現場技術者が不足しているが若手を育成し不足を補っていく。現在現場にいる人たちの作業環境の改善を実施しないと業界全体が良くならない。発注者の協力もお願いしたい。」との挨拶があり、野口都市整備局長からは「適正利益計上のための資材単価 労務単価の上昇により入札不調など多くの課題を抱えている。単価の見直しやスライド条項の実施など対応してきている。早期発注に努め、景気対策を講じていく。入札制度や契約制度も双方にとってよりよいものとなるよう適宜見直しを行っていく。」とのご挨拶をいただきました。また、会議の中で企業局長谷川建設部長から次の注意事項がありました。

- ・地下埋設物の調査・試掘を実施し、外傷のないよう工事を進めること。
- ・交通誘導員や安全施設をしっかりと設置し、安全確保に努めること。
- ・適正な工具の使用、保護具の装着などを下請にも周知徹底を行い、安全作業に努めること。
- ・熱中症、インフルエンザ等健康管理にも留意すること。
- ・これらの事項を施工計画書に反映すること。



岡田土木部会長の挨拶



野口都市整備局長の挨拶



出席者の皆さん



出席者の皆さん

## 建築部会 全体会

6月19日(木)午前10時30分から石川県建設総合センター4階401会議室で建築部会会員25名が出席し建築部会全体会が開催されました。

はじめに、岡建築部会長から「昨年度からの国の積極的な予算確保を受けて県、市の公共工事予算も前年度に比べると大きく伸びており、建築工事においても大いに期待している。

われわれが携わっている公共工事は大切な社会インフラであり、それを整備するための社会的責任が課せられていると思っている。皆様のご協力をお願いしたい。また、部会活動では皆様方とご相談しながら有意義な活動を行っていきたい。」との挨拶がありました。

この後、金沢市住宅政策課まちなか住宅再生室の水内一博室長及び住宅政策課住宅政策グループの松田潤一郎主査から平成26年度の住宅支援制度（まちなかで住宅を新築・購入・改修する場合及び郊外で住宅を新築・購入する場合並びにその他の住宅支援制度）、スマートタウン整備支援助成事業、瑞樹団地における支援制度等について講演がありました。

また、講演会終了後の勉強会では、現在の国土交通省の施策、公共建築工事積算上の問題点、留意事項等について事務局から説明を行いました。



岡建築部会長の挨拶



水内氏、松田氏の挨拶

## 県央土木総合事務所(幹部職員)との意見交換会

7月11日(金)午前10時から石川県建設総合センター4階会議室において、「より良い地域づくり、適切なインフラの整備」を目指し、発注者である県央土木総合事務所幹部職員10名と施工者である金沢建設業協会土木部役員16名が諸課題について話し合う、意見交換会が開催されました。

岡田康晴土木部会長と県の竹村裕樹所長の挨拶の後、県から、金沢能登連絡道路(のと里山海道)4車線化や犀川河川改修など今年度の事務所管内における主要事業の説明がありました。協会からは、「適切な工期の設定や発注時期の平準化に関すること」「ワンデーレスポンスの確実な実践や迅速な設計変更に関すること」など工事の発注や施工管理に関する提案や要望を行い、県からはそれぞれ改善に努めるなどの回答がありました。



岡田土木部会長の挨拶



竹村所長の挨拶

## 土木部会 全体会

7月22日(火)午前10時から石川県建設総合センター7階大ホールで土木部会全体会が部会員43名の出席の下、開催されました。

開会にあたり岡田土木部会長から「現場がより良くなるよう、金沢市や県央土木総合事務所の職員と意見交換会を実施してきた。建設業界が将来に渡り生き残れるように今後も努力をする。ご協力を願いたい。」との挨拶がありました。

続いて各副部会長と各委員長から、金沢市幹部職員や実務担当者及び県央土木総合事務所幹部職員との意見交換会の報告がありました。

この後、旧自治省に入省され本省内の様々な部所での勤務のほか全国の都市に赴任されてきました金沢市副市長、濱田厚史様より「これからの金沢のまちづくりについて」を演題にご講演をいただきました。

ご講演では、まちの「かたち」、ひとびとの「暮らし」、行政の「施策」の3本柱に共通してあるものは、市民の金沢への熱い思い「金沢愛」ではないかということ、そしてこれらを土台に、これからのまちづくりの指針となる新たな都市像「世界の交流拠点都市」及びこれを目指す戦略について、お話がありました。

講演終了後、早川副部会長から「業界の発展のためには各社の努力にするとともに、部会活動や協会への協力をお願いします。」との閉会の挨拶がありました。



岡田土木部会長の挨拶



濱田副市長のご講演



参加者の皆さん

## 平成26年度 第一回 中堅・若手(技術)社員研修会

4月22日(火)午前10時から石川県建設総合センター7階大ホールにおいて「平成26年度 第一回中堅・若手(技術)社員研修会」が開催され、会員企業および会員以外の企業から、現場に携わる技術者約50名の方々が参加しました。

竹腰勇ノ介総務委員長の挨拶の後、「現場代理人のための工事成績評定点对策講座」のテーマで、講師の(株)日本コンサルタントグループ建設産業システム研究所の丸谷 正氏から次の内容のご講演をいただきました。

- ・業界動向について
- ・工事成績評定点の中身とは
- ・自社の工事の施工成績の分析と発表
- ・評定点の向上阻害要因分析

また、グループごとに演習問題を討議し、発表を行った後、丸谷講師からご講評をいただきました。



丸谷講師の挨拶



講習会風景

## 平成26年度 BCP訓練

5月13日(火)午前9時から、建設総合センター 災害支援本部(3階会議室)において、事業継続計画(BCP)に基づき、災害時に即応できる体制を確立し強化するため、初めてのBCP訓練を実施しました。

午前7時半に金沢で震度6強の地震が発生したとの想定により、平櫻会長(本部長)、土木・建築両部会長、地域防災セクションメンバーなど15名が本部に参集し、各社社員の安否確認や応急復旧支援体制などについて情報伝達訓練を実施しました。平櫻本部長から「今後も訓練を継続し、課題を検証し改善して行くことが肝要。」との講評をいただきました。

当協会では、事業継続計画(BCP)の精度を高めるため、今後も定期的に訓練を実施する予定です。



平櫻会長の挨拶



訓練風景



## 平成26年度 災害対策会議の開催

4月24日(木)午前10時30分から災害対策会議を石川県建設総合センター7階大ホールにおいて開催しました。この会議には昨年度策定を完了した事業継続計画書(BCP)に基づき、会長、正副部長、青年委員会委員および各企業の事業継続計画担当者80名の参加をいただきました。

平櫻会長の挨拶に続き上野地域防災セッションリーダーより計画書およびポケット版について、坂戸災害支援室長より災害対応体制について、豊蔵サブリーダーより5月13日に予定されているBCP訓練についての説明を行いました。



平櫻会長挨拶



会議風景



## 金沢市へ事業継続計画(BCP)提出

2月19日(水)午前、金沢建設業協会は金沢市に事業継続計画(BCP)を提出しました。金沢市から山崎章危機管理監他担当者、当協会から平櫻会長、両部会長、青年委員会委員長および地域防災セッションリーダー・サブリーダーが出席しました。

今回作成しました事業継続計画(BCP)は、平成21年度より青年委員会地域防災セッションが中心となり、事業継続計画の研究・策定を進めてきたもので、その後発生した東日本大震災の復旧にかかる建設業界に対する要請や活動等を教訓に、当協会の業務継続はもとより、会員企業と連携し金沢市や石川県と締結した応急復旧活動の実効性を高めることも盛り込みました。

井戸谷青年委員長が策定の経緯を、上野リーダーが計画の概要を説明しました。山崎危機管理監より「災害時における応急復旧活動の基礎を固めた意義深いもの。模範となる計画である。」との感謝の言葉をいただきました。

今後は訓練を実施し、災害時における社会的要請に応えていくこととしています。



山崎危機管理監への提出



山崎危機管理監挨拶



BCPの説明

## 石川県へ事業継続計画（BCP）提出

2月27日(木)午前、金沢建設業協会では2月19日の金沢市への事業継続計画(BCP)提出に続き、平櫻会長、両部会長、青年委員長、地域防災セクションリーダーが出席し、県央土木総合事務所および金沢港湾事務所に同計画書を提出しました。

県央土木総合事務所では竹村所長に計画書策定の経緯、目的を説明すると共に、災害発生時のインフラ施設の復旧に的確な対応を図るため、行政と業界が協働し、活動することが重要であり、相互協力が欠かせないとの認識で一致いたしました。

また、金沢港湾事務所では橋本次長に同様の内容を説明し、災害時の港湾関係施設の早期復旧が必要であり、万が一、道路、橋梁、水道、ガス等の復旧に長期間を要することとなった場合、金沢港の施設の早期復旧が極めて重要であるとの認識で一致いたしました。

当協会としては、新年度のできる限り早期に、災害時に設置される「災害支援本部」と会員企業や関係行政機関との連絡体制の確認訓練を行い、災害時における建設産業の社会的責任を果たすため、今後共、継続して情報伝達訓練を行うこととしていますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



竹村所長への説明



橋本次長への説明



## クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ（海岸清掃ボランティア）

5月25日(日)午前7時から、石川の海岸線583Km をきれいにする海岸愛護運動「クリーン・ビーチいしかわ」が開催され、企業や団体から多くの方々が参加し海岸などのごみ拾いに汗を流しました。

当協会も毎年、地域貢献の一環として建設機械を配備し、専光寺浜、佐奇森浜等の清掃活動に参加しています。今年も青年委員会を中心に、会員企業から95名の方々の参加をいただき、1時間ほどの清掃でたくさんのごみを回収しました。

これからも、様々な活動を通じて地域貢献、住民の方々との親睦を深めながら、地域に根ざした価値ある協会活動に積極的に参加して参ります。



参加者の皆さん



参加者の皆さん



活動風景



活動風景

## 平成26年度 第二回 中堅・若手(技術)社員研修会

6月27日(金)午前10時から石川県建設総合センター5階第一研修室において、平成26年度 第二回中堅・若手(技術)社員研修会が開催され、会員企業および会員以外の企業から、現場に携わる技術者約50名の方々が参加しました。

竹腰勇ノ介総務委員長より「建設業界の山積している困難な課題の一つが生産性の向上、管理運営力の向上である。今回の研修にて各位の力量の向上に努め、各社の発展へと繋げてほしい。」との挨拶の後、「生産性を高める現場運営のための現場代理人養成講座」のテーマで、講師の(株)日本コンサルタントグループ建設産業システム研究所の酒井誠一氏から次の内容でご講義をいただきました。

- ・組織への主体的貢献
- ・現場代理人のマネジメントの基本
- ・現場の問題解決
- ・部下・後輩の育成
- ・業務改善計画の作成

また、グループごとに演習問題を討議し、発表を行った後、酒井講師からご講評をいただきました。



竹腰総務委員長の挨拶



酒井講師の挨拶



受講風景

## 第36回 測量コンテストに参加

6月4日(水)午前9時から奥卯辰山県民公園で測量コンテストが(一社)石川県建設業協会の主催、(一社)石川県測量設計業協会及び石川県土木施工管理技士会の共催で開催されました。

このコンテストは測量の基礎技術について競い合い、技術の向上を目指すことを目的としているものです。

今回の競技には、企業対抗の水準測量に12チーム24名、トラバース測量に8チーム16名、また、地区対抗水準測量に9チーム18名が参加しました。

このうち地区対抗水準測量は、距離1.3km、高低差25mの起伏のあるコースに金沢建設業協会代表チームとして、内川建設(株)の船本輝喜さんと(株)河内組の森田忍さんがチームを組み参加されたほか、協会員延べ16企業の方が2人一組でトラバース測量や水準測量に参加しました。

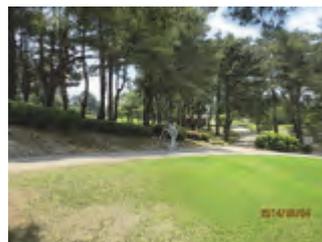
県協会の竹腰広報・研修委員長から「測量作業は建設事業の基礎技術である。」との激励のご挨拶と県測量設計業協会の松浦氏から「測量作業規程に準拠した測量競技である。」旨の留意事項の説明の後、競技が開始されました。



開会式風景



競技中の風景



## 第36回 測量コンテスト表彰式

6月18日(水)午前11時30分から石川県建設総合センター4階401会議室において、第36回測量コンテスト表彰式が開催されました。この測量コンテストは測量の基礎技術について競い合い、技術の向上を目指すことを目的として、(一社)石川県建設業協会の主催で6月4日に実施されたもので、金沢建設業協会代表チームとして出場した内川建設(株)の船本輝喜さんと(株)河内組の森田忍さんが見事、第3位に入賞されました。また、企業対抗の水準測量やトラバース測量に参加した金沢建設業協会協会員各社も多数入賞されました。

入賞のみなさんは、次のとおりです。

地区対抗 水準測量  
第3位 (一社) 金沢建設業協会

企業対抗 水準測量  
優秀 (株)明翫組  
優秀 (株)豊藏組

企業対抗 トラバース測量  
最優秀 北川建設(株)  
優 秀 真柄建設(株)  
優 秀 加賀建設(株)



表彰式風景

## 平成26年度 第三回 中堅・若手(技術)社員研修会

8月6日(水)午前10時から石川県建設総合センター5階第一研修室において「平成26年度 第三回中堅・若手(技術)社員研修会」が開催され、会員企業および会員以外の企業から、現場に携わる技術者約45名の方々が参加しました。

竹腰勇ノ介総務委員長より、「現場においていかに利益を出すかが建設業界における究極的な課題である。今回の研修はその内容について対応しており、各位の力量および各社、そして業界の発展に繋がるものである。」との挨拶がありました。

その後、「利益拡大のためのコスト管理強化講座」のテーマで、講師の(株)日本コンサルタントグループ建設生産システム研究室長の石原勝信氏から次の内容でご講義をいただきました。

- ・現場代理人に求められていることは何か
- ・受け身な現場運営から利益づくりの積極性
- ・コスト管理強化の観点
- ・利益獲得の逆風を跳ね返す
- ・設計変更の対応検討

また、グループごとに演習問題を討議し、発表を行った後、石原講師からご講評をいただきました。今年度の本研修は今回で最後となりましたが、来年度以降も今日的なテーマでの研修を予定しています。



竹腰総務委員長の挨拶



石原講師の挨拶



受講風景

## 金沢市立工業高等学校デュアルシステムに協力

今年度で5年目となる、金沢市立工業高校のデュアルシステム「工業人養成企業実習」が、8月4日(月)～8月8日(金)及び8月18日(月)～8月22日(金)までの2週間に渡って行われました。今回は土木工事のみで、対象工事は米泉10丁目線道路築造工事(その1)及び(4-3工区)管渠築造工事で施工者は大三建設様でした。

現場実習には、土木科2年生大西将也君及び山形啓泰君の2名が参加し、無事終了いたしました。ご協力をいただきました大三建設様また、直接お世話をいただきました現場代理人の方々に深く感謝申し上げます。

昨年も同様でしたが今日、建設産業は他の産業と比べますと若年者の割合(入職者率)が非常に少ない状況となっており、若者に「ものづくり」の大切さ、楽しさ、すばらしさ、また、緻密さをこの実習から体験してもらうことにより、建設産業に対するイメージをアップしていただくことが重要と考えております。当協会では今後とも、このような機会を続けて参りたいと考えておりますので、協会員の方々のご理解とご協力を今後とも賜りますようお願い申し上げます。

## 『工業人養成企業実習を終えて』

金沢市立工業高等学校土木科2年 大西 将也

今回の工業人養成企業実習を終えていろいろな事を学ぶことができました。例えば、使う道具の名前です。はじめは名前がわからなくてとまどう時も多かったけど日がたつにつれてだんだんと道具の名前を覚える事ができてきました。だけど、言われたままに道具を持って行くのではなくて次に何が必要になるか考えて道具を持って行かなければならないという事を学ぶことができました。また、マンホールを埋める時にマンホールを正しい位置に埋めるための目印となる丁張という作業もできるようになりました。

土木に関して分かった事がいくつかあります。まず先生たちが、土木はミリ単位の世界だと言っている事がよく理解することができました。下水管を埋める時に下水管が水平になるかどうかレベルを覗いて何ミリ下げるとか何ミリ上げるとかすごくミリにこだわっている事がわかりました。また、現場での仕事は下水を中心に行われていたので下水が終わった後にはどんな仕事をするのだろうと土木の仕事にすごく興味を持つ事ができました。今回の体験を通じて、自分はこのままいくとどのような企業に就職できてどのような仕事をやるのだろうと将来の職について、時間をかけて考えることができたことが一番為になりました。現場の方からいろいろな意見を聞きましたので、参考にして将来の事を決めていきたいと思います。

工業人養成企業実習に参加してすごく良かったと思います。

## 『工業人養成実習を終えて』

金沢市立工業高等学校土木科2年 山形 啓泰

私は、この夏工業人養成企業実習で大三建設さんの現場で実習をさせていただきました。私たちが一番はじめに行った作業が、材料検査写真撮影に使う数字のラミネートでした。簡単な作業だったと思いますが、少し緊張していて、わからないことをあまり自分達から質問する事が出来ませんでした。担当の方がいろんな話をしてくださるうちに自分達からも質問をすることが出来るようになりました。ラミネートという単純な作用から始まりましたが、自分たちだけでニゲ杭を打ったり、丁張をするレベルにまで至りました。他にも、管渠布設工の手元や人孔設置の手元をしていくうちに、作業方法や、専門用語、下請けさんとのコミュニケーションなど様々な内容を学ばせていただきました。毎日汗と泥だらけになる作業を行っていく中で、ほんの少しずつ、土木という世界が見えてきました。

今回、現場での実習を終え、自分には様々な、知識、技能が備わったと思います。専門用語や作業手順、作業方法など多くを学びました。また、土木という世界に対して興味や関心が増し、自分の将来の事について沢山考えさせられました。この貴重な体験を通して、現場での基本的なことや基本的な作業において、体験する前とは比べ物にならないくらいの自信ができました。そして人孔も深いですが、土木という世界はもっと深いことが分かりました。

自分の人生をもっともっと深いものにする為、これからいろいろな体験、経験をしていきたいです。



現場での実習風景

## 入札制度等説明会の開催

3月26日(水)午前10時から、石川県建設総合センター7階大ホールにおいて「入札・契約制度等の説明会」が開催されました。この説明会は毎年度末に開催されており、来年度の金沢市の入札・契約制度について、金沢市の担当者が説明しているものです。

今回は会員企業から約80名が出席し、「入札・契約制度」及び「前払金・中間前払金等の積極的活用」等に係る説明が行われました。

金沢市監理課の溝口課長のご挨拶の後、東日本建設業保証株式会社石川支店の吉久次長より「前払金・中間前払金・地域建設業経営強化融資制度の積極的活用」について、金沢市監理課の米岡工事契約グループ長からは「平成26年度入札・契約制度の改正」について、また、西監理課検査員室長からは「検査体制」及び「提出書類の見直し」について説明がありました。

なお、金沢市の説明資料は下記のアドレスに掲載されています。

[http://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/9477/1/k\\_2014\\_setsumeikaisiryu.pdf](http://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/9477/1/k_2014_setsumeikaisiryu.pdf)



溝口課長のご挨拶



吉久次長のご挨拶



受講風景

## 献血奉仕活動

3月7日(金)、午前9時30分から、石川県建設総合センター1階ロビーにおいて、当協会の恒例行事である「献血奉仕」を行いました。この活動は、平成4年に社会奉仕活動の一環として開始され、毎年多くの方々にご協力をいただいております。

本年も会員企業の経営者や従業員の方々をはじめ、同センター内に事務所を置く関連団体の職員及び外来者の方々等、総受付数147名の方々にご参加いただきました。

皆様からの貴重な血液は、輸血を必要とする多くの方々の尊い生命を救うことの一助となり、この善意の輪が広がり、他人を思いやる温かい地域となることを期待したいと思います。

ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。また、会員企業様にも感謝申し上げますとともに、今後もご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



献血風景



## 協会・組合合同新年会

平成26年の金沢建設業協会と金沢建設業協同組合の『合同新年会』が1月17日(金)午後6時からホテル日航金沢で山野之義金沢市長、池上渉都市整備局長、中田政晴土木局長等来賓の方々を含め協会員、組合員100名が参加し盛大に開催されました。

平櫻保協会長より「政権交代を機に仕事量は増大したが、それに伴い人手不足や資材の高騰などの問題も出てきている。それらを踏まえ昨年末、金沢市に対し4つの項目について陳情していたが、すべての項目に対して快い回答をいただいた。また、金沢市においては新しいプロジェクトもスタートすると聞いており、経営の改善が期待される。」とのご挨拶がありました。

これに続き鶴山庄市協同組合理事長より「組合の円満な運営は、金沢市当局及び組合員の温かいご協力の賜物である。本年は内川第1処分場の運用が開始される重要な年となる。引き続き皆様のご意見、ご理解を賜りながら事業を進めていきたい。」とのご挨拶がありました。

引き続き来賓を代表して山野之義金沢市長より「協会の皆様方との勉強会の機会もあり、自身も建設業について理解できるよう努力しているところである。諸経費率や法定福利費等に関しても県に準じて対応していきたい。今後も市民・県民のためとなるよう、皆様との密な情報交換を行えることを祈念する。」とのご祝辞がありました。

この後、石川県建設業協会会長で当協会相談役の北川義信様の挨拶と乾杯の音頭で和やかに懇親会が始まりました。午後8時に橋本和雄協会副会長の音頭で、協会及び組合の結束を願い一本締めでお開きとなりました。



平櫻会長の挨拶



鶴山理事長の挨拶



山野市長の挨拶



北川石川県協会会長の挨拶



橋本副会長の挨拶

## 青年委員会の活動

### 《青年委員会全体会》

2月25日（火）午後4時30分から青年委員会の全体会が平櫻会長をはじめ各役員、内村金沢市立工業高等学校校長、同土木科および建築科の先生、生徒、青年委員会委員が出席し、ニューグランドホテルで開催されました。

第一部では情報発信セクションが取り組んできた、建築設計コンペティション（デザインアワード）入賞者である金沢市立工業高等学校建築科3年生の石高世樹さん、坂林優梨さん、松本美優さん、寺井理緒さんによる入賞作品のプレゼンテーションが行われ、それぞれが設計のコンセプト、作品への熱い思い等を発表しました。

次に同学校建築科が授業の一環で実施している課題研究作品の、各大学や各機関による建築設計コンペティション入賞者である内田将吾さん、岸本直さんによるプレゼンテーションが行われました。

続いて、建築科および土木科生徒の卒業課題研究の発表が行われ、建築科では小林和真さん、井上遼太郎さん、岡田真也さん、干場裕登さん、村波月悠さん、藪寛文さんの6名による「コンクリートのひび割れに関する研究」が発表され、高校生として一生懸命に努力されたことが伝わってきました。

最後に土木科の研究発表として弥村達弥さん、谷内耕平さん、酒谷心さん、高多史さん、八十島菜緒さん、安田葉月さんの6名による「シビックデザインと機能～鉄道と空港の場合～」と題する研究成果が披露されました。これはそれぞれの施設や案内サイン等について国内外、県内の事例を収集し、その地域の歴史・文化と生態系に配慮した、使いやすい美しい公共施設を構成するファクターとしてどのように貢献しているかを研究したもので、成果としてまとめるための苦労が強く伝わってきました。



井戸谷委員長の挨拶



発表風景



発表風景





発表風景



発表風景

何れの発表も高校生らしい柔軟な発想で行われ、その成果の出来映えには感心しました。青年委員会では、これからの建設産業を担う人材育成応援の一環として、今後もこのような高校生への支援活動を継続的に実施して参りますので、会員の皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

第二部では、これまでの各セッションの活動状況及び取組んできました研究テーマについての報告が行われました。情報発信セッションでは金沢市立工業高等学校への卒業課題研究への支援活動及びデザインアワードに関する報告、地域防災セッションでは事業継続計画（BCP）について、技術研究セッションでは海外進出（台湾）への取組みについて発表しました。



情報発信セッションの発表



地域防災セッションの発表



技術研究セッションの発表

発表終了後、来賓の方々を交え懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中で参加者全員が1年間の疲れを癒し、今後の新たな活動に向けて英気を養いました。



懇親会風景

## 《まちなか協働パトロール強化週間合同パトロール》

4月9日(水)午後1時20分から「まちなか協働パトロール強化週間における合同パトロール」が実施されました。このパトロールは、平成21年に当協会と金沢市との間で締結した、「まちなか協働パトロール協定」に基づくもので、毎年4月の第2週目をパトロール週間として実施しており、金沢市が維持管理している公共施設の安全管理上の異常を早期に発見し、市に通報し災害や事故等未然に防止することを目的として実施しているものです。

当日は会員企業・青年委員会から約100名の方々の参加をいただき、石川県建設総合センター玄関前で出発式が行われました。

青年委員会 井戸谷委員長及び金沢市土木局道路管理課 中川課長からのご挨拶のあと、5班に分かれ、まちなかの公共施設の不具合を調査しました。

この日の調査で120件の報告があり、金沢市に報告書を提出いたしました。今後も日常の生活の中で公共施設の点検を行い、安全で安心なまちづくりに貢献して参ります。



井戸谷青年委員会  
委員長の挨拶



中川道路管理課長の挨拶



点検風景



点検結果集計

## 《平成26年度金沢市防災合同パトロール》

6月2日(月)午前9時から「災害時における応急対策活動に関する協力協定書」(平成9年1月17日締結)及び「災害時における被災情報収集活動に関する覚書」(平成19年3月22日締結)に基づき、金沢市防災合同パトロールが実施され、当協会青年委員会地域防災セクションより、豊蔵、明翫、河内正副リーダーの3名の方々が参加しました。

このパトロールはこれから梅雨期を迎えるにあたり、既存造成団地内のがけ地(斜面)や擁壁等について、予め点検を行い、万一異常が認められる場合には、所有者に対して指導等を行い、適切な対応を求め、災害を未然に防止することを目的としています。

出発式では山野金沢市長から「この防災パトロールは梅雨を迎えるにあたり、市民の防災意識を高める為にぜひ必要であり、がんばってほしい。」との訓示を受け、伏見が丘、宮園、高尾第二、大額の各団地の点検に出発しました。

現地では、斜面や擁壁等に変形がないか、また排水施設は正常か等について点検しました。



出発式



点検風景



点検風景

## 《『第一回森づくり実践活動2014』植樹活動》

6月29日(日)午前8時30分から金沢市夕日寺町地内の夕日寺健民自然公園内において、(公社)石川の森づくり推進協会が育樹した樹木廻りの下草を人力で刈り取る作業を行いました。

当日は会員企業、青年委員会メンバーの方々が集まり、各人が鎌を片手に、木を傷つけないように慎重に雑草の刈り取りを行い、美しい森林づくりに貢献しました。

当協会では、今後もこのような活動を通して社会貢献をしていきたいと思っており、今後とも多数の皆様方のご参加をお待ちしています。



参加者の皆さん



作業風景



作業後風景

## 《『第二回森づくり実践活動2014』植樹活動》

10月19日(日)午前8時30分から金沢市夕日寺町地内の夕日寺健民自然公園内において、今年第2回目となる樹木の選定や廻りの下草を人力で刈り取る作業を行いました。これは、(公社)石川の森づくり推進協会が主催し毎年春と秋にこれまで育樹した樹木の生長を促すために行われています。

当日は会員企業、青年委員会メンバーの方々が集まり、各人が鎌を片手に、木を傷つけないように慎重に選定や雑草の刈り取りを行い、美しい森林づくりに貢献しました。

当協会では、今後もこのような活動を通して社会貢献をしていきたいと思っており、今後とも多数の皆様方のご参加をお待ちしています。



参加者の方々



作業風景

## 《市民防災訓練の視察》

8月31日(日)午前7時30分から、今年度の市民防災訓練が崎浦校下(南小立野小学校体育館、グラウンド)ほかで開催され、青年委員会地域防災セクションの豊藏リーダー、明翫サブリーダーが、地域住民の訓練状況を視察しました。

これは、事業継続計画(BCP)の本格運用に伴い、大規模災害発生の初動期に地域住民で組織する自主防災組織の避難、救助活動への支援などの関わりについて研究するため視察したもので、今後の活動の参考にすることとしています。



訓練風景

## 《平成26年度消火技術競技大会》

9月4日(木)午後1時から、まめだ簡易グラウンドにおいて金沢市消防局、金沢市防火協議会主催の消火技術協議大会が開催されました。

青年委員会地域防災セクションメンバーの(株)河内組の河内克彦さん、小西建設(株)の小西正人さん、橋建設(株)の橋裕之さんの3名の方々が参加されました。

当日当協会は消火器操作の部に出場しましたが、競技の結果、河内克彦さんが見事敢闘賞を受賞されました。おめでとうございます。



会場風景



開会式風景



競技風景



表彰式風景

## 第26回 土木・建築部会合同懇親ゴルフ会

9月26日(金)に第26回土木・建築部会合同懇親ゴルフ会が、小松市のGOLFCLUB ツインフィールズにおいて42名が参加して開催されました。

晴天の中、個人戦と部会戦の勝利を目指し、午前8時49分にスタートしました。今回の部会対抗戦のルールはゴルフ委員会で決定した、各部会の参加者の平均値で勝敗を決定するもので、その結果はネット平均で土木部会が78.26点、建築部会が77.61点となり、建築部会が5年ぶりで優勝しました。なお、これで通算勝敗は土木部会の16勝6敗、建築部会の6勝16敗となりました。

また個人戦は、阪田幸信さん(株坂田組)が優勝され、準優勝は長坂知通さん(株長坂組)、第3位は連友也さん(ムラジ建設株)、BB賞は塚村誠さん(株高田組)でした。

### 上位15名の方々の成績

順位	競技者氏名	OUT	IN	グロス	HDCP	ネット
優勝	阪田 幸信	50	53	103	34.80	68.20
準優勝	長坂 知通	44	42	86	13.20	72.80
第3位	連 友也	43	40	83	9.60	73.40
第4位	若林 寛	47	41	88	14.40	73.60
第5位	梅谷 基樹	51	55	106	32.40	73.60
第6位	中島 潤一	46	46	92	18.00	74.00
第7位	竹腰 峯生	44	41	85	10.80	74.20
第8位	鶴山 庄市	42	43	85	10.80	74.20
第9位	岡 昌弘	47	49	96	21.60	74.40
第10位	浦川 雅夫	53	49	102	27.60	74.40
第11位	明翫 章宏	45	50	95	20.40	74.60
第12位	田畑 太郎	48	53	101	26.40	74.60
第13位	小西 正人	45	43	88	13.20	74.80
第14位	高田 直人	42	51	93	18.00	75.00
第15位	岡田 康晴	52	52	104	28.80	75.20

競技終了後、午後6時30分からニューグランドホテルで表彰式及び懇親会が開かれ、平櫻会長のご挨拶、鶴山理事長の乾杯の音頭の後、成績発表と表彰式が行われました。

今回敗戦しました岡田土木部会長から「来年は必ず優勝する。」とのご挨拶あり、また勝利しました岡建築部会長からは「久しぶりの優勝で大変うれしい。」とのご挨拶がありました。

この後、和やかな雰囲気です懇親会が進められました。



平櫻会長のご挨拶



鶴山理事長のご挨拶



個人優勝の阪田さん



団体優勝の建築部会

## 第 20 回(一社)石川県建設業協会ボウリング大会 金沢建設業協会Bチーム4連覇

3月1日(土)に第20回(一社)石川県建設業協会ボウリング大会が藤江町2丁目の「バイパスレジャーランド」において、県協会及び各地区協会合せて22チーム88人が参加し開催されました。

開会式では北川義信県協会長のご挨拶の後、金沢建設業協会Bチームの越野匠さん(日本海建設㈱)の選手宣誓が行われ、引き続き北川会長、役員の方々の始球式で競技が始まりました。

競技は各チーム女性1人、男性3人の4人で3ゲームの合計で団体戦と男女個人戦が行われました。団体戦及び男女個人戦で4連覇を目指す当協会Bチームは、安定した高スコアで、追いつける白山・石川Aチームに大差を付け見事、優勝しました。

また、個人戦男子では3ゲームとも200UPの越野匠さんが小松Aチームの森さんに大差を付けて見事優勝されました。さらに、個人戦女子では古武奈巳代さんが準優勝されました。なお、HG賞は1G目に266点を出しました、越野匠さんが受賞されました。

競技終了後、「ゆめのゆ」で表彰式と懇親会が開かれ、各地区協会との交流が図られました。ご参加いただきました選手及び応援団の皆様方、またボウリング委員会の方々方に厚く御礼を申し上げます。

### 競技結果

#### 団体戦の部

順位	チーム名	得点	チーム参加者名
優勝	金沢B	2,350	山口智志(北川建設㈱) 越野匠(日本海建設㈱) 任田義幸(加州建設㈱) 古武奈巳代(ウィルビー㈱)
準優勝	白山・石川A	2,111	
第3位	小松A	1,924	
第4位	羽咋A	1,878	
第5位	金沢C	1,808	堀松登志一(北川建設㈱) 藤本日出夫(北川ヒューテック㈱) 大田和之(㈱豊蔵組) 斉田由佳子(㈱明翫組)

#### 個人戦・男子の部

順位	氏名	得点
優勝	越野匠 (金沢B)	709
準優勝	森光明 (小松A)	630
第3位	永江満夫 (加賀A)	615
第4位	島崎浩二 (白山A)	575
第5位	山口智志 (金沢B)	569
第6位	任田義幸 (金沢B)	562
第7位	光山昌義 (小松A)	534
第8位	堀松登志一 (金沢C)	525



前回優勝トロフィー返還



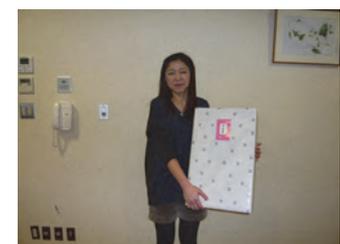
4連覇 金沢Bチーム

#### 個人戦・女子の部

順位	氏名	得点
優勝	北田智美 (白山A)	550
準優勝	古武奈巳代 (金沢B)	510
第3位	寺澤江利子 (羽咋A)	430



男子個人優勝 越野さん



女子個人準優勝 古武さん

## 協会員の異動（平成25年10月～26年10月）

### 入 退 会

#### ○会員の退会

北日本建設(株) (平成26年 5月)  
(株)木田組 (平成26年 5月)

### 代 表 者

#### ○代表者の変更

村中建設(株)	(平成26年 4月)	村中 基暢	⇒	村中 庸弘
吉田道路(株)	(平成26年 5月)	吉田 雅敏	⇒	吉田 博俊
(株)リクケン	(平成26年 5月)	森 陸太郎	⇒	森 威一郎
北川ヒューテック(株)	(平成26年 6月)	北川 真	⇒	北川 隆明
(株)アシーズ	(平成26年 6月)	竹村 彰夫	⇒	前山 政雄
みづほ工業(株)	(平成26年 7月)	平櫻 保	⇒	梅谷 基樹
北興建設(株)	(平成26年10月)	道下 幸雄	⇒	井戸谷信一

### 部 会 員

#### ○部会員の変更

##### (土木部会)

(株)小山組	(平成26年 5月)	林 裕	⇒	上野 晋
(株)北都組	(平成26年 5月)	中田 茂行	⇒	木原 学
吉田道路(株)	(平成26年 5月)	新保 新一	⇒	今村 徳男

##### (建築部会)

城東建設(株)	(平成26年 5月)	水内 健之	⇒	浦川 雅夫
---------	------------	-------	---	-------

## 青年委員会

### ○青年委員会

#### 入 会

毎田建設(株) (平成26年4月) 越井 修

#### 委員の変更

島屋建設(株) (平成26年4月) 上出 正彦 ⇒ 島 洋之

(株)高田組 (平成26年4月) 塚村 誠 ⇒ 霞流 吉広

(株)北都組 (平成26年4月) 米田 耕 ⇒ 木原 学

## 協会の動き (平成25年10月～26年10月下旬)

- |       |                                               |       |                           |
|-------|-----------------------------------------------|-------|---------------------------|
| 10月1日 | 青年委員会：情報発信S                                   | 29日   | 土木部会：施工管理委員会              |
| 2日    | テレビ講座                                         | 30日   | 総務委員会                     |
| 3日    | 常任理事会                                         | 11月1日 | 土木部会：環境・情報委員会             |
| 4日    | 土木部会：県央土木実務担当者との<br>意見交換会事前打合せ                | 5日    | 常任理事会                     |
| 7日    | 台中豊原区各種団体訪問団議連交流会                             | 6日    | 建築部会：市幹部との意見交換会           |
| 9日    | 建築部会：役員会<br>土木部会：舗装委員会                        | 11日   | 青年委員会：情報発信S               |
| 11日   | 現場責任者研修会                                      | 13日   | 奉仕委員会：緑化基金寄付及び植樹・<br>清掃活動 |
| 14日   | 台中市訪問 (16日まで)                                 | 14日   | 役員会：視察研修旅行 (16日まで)        |
| 16日   | 土木部会：舗装委員会<br>ボウリング委員会                        | 19日   | 土木部会：役員会                  |
| 17日   | 市立工業デザインアワード表彰式                               | 20日   | 第18回ボウリング大会               |
| 20日   | 青年委員会：森づくり実践活動                                | 21日   | 青年委員会：技術研究S               |
| 21日   | 建築部会：役員会                                      | 25日   | 金沢市長要望                    |
| 22日   | 経営者・後継者研修会<br>青年委員会：技術研究S                     | 26日   | 建築部会：能登視察研修               |
| 23日   | 青年委員会：地域防災S<br>土木部会：県央土木総合事務所実務担当者<br>との意見交換会 | 27日   | 青年委員会：地域防災S               |
| 25日   | 青年委員会：幹事会                                     | 28日   | 青年委員会：幹事会                 |
| 28日   | 奉仕委員会<br>土木部会：安全対策委員会                         | 12月2日 | 土木部会：全体会<br>土木部会：施工管理委員会  |
|       |                                               | 3日    | 土木部会：安全対策委員会              |
|       |                                               | 4日    | テレビ講座<br>土木部会：環境・情報委員会    |
|       |                                               | 10日   | 土木部会：舗装委員会                |

- |      |                                                 |       |                                             |
|------|-------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------|
| 11日  | 建築部会：全体会                                        | 12日   | 土木部会：役員会                                    |
| 13日  | 協会・組合 合同役員会<br>青年委員会：情報発信 S<br>土木部会：正副部会長・委員長会議 | 19日   | 常任理事会・理事会                                   |
| 17日  | 青年委員会：技術研究 S                                    | 25日   | 青年委員会：幹事会                                   |
| 18日  | 建築部会：安全パトロール                                    | 26日   | 金沢市入札・契約制度説明会                               |
| 19日  | 青年委員会：地域防災 S<br>建築部会：年末懇親会                      | 27日   | 青年委員会：地域防災 S                                |
| 20日  | 青年委員会：幹事会<br>赤い羽根共同募金 贈呈式                       | 4月2日  | 新入社員研修会（～7日）                                |
| 24日  | 総務委員会                                           | 3日    | 土木部会：舗装委員会                                  |
| 1月7日 | 新年挨拶まわり                                         | 4日    | 理事会<br>土木部会：安全対策委員会                         |
| 9日   | 協会経営改善会議                                        | 7日    | 土木部会：施工管理委員会                                |
| 15日  | テレビ講座<br>青年委員会：技術研究 S                           | 8日    | 土木部会：環境・情報委員会                               |
| 16日  | 青年委員会：救命講習                                      | 9日    | テレビ講座<br>青年委員会：まちなか協働パトロール                  |
| 17日  | 協会・組合 合同新年会                                     | 10日   | 土木部会：視察研修（～13日）                             |
| 20日  | 土木部会：役員会<br>協会経営改善会議                            | 15日   | 青年委員会：地域防災 S<br>土木部会：副部会長会議                 |
| 21日  | 青年委員会：情報発信 S                                    | 22日   | 第1回中堅・若手（技術）社員研修会<br>土木部会：正副部会長会議           |
| 22日  | 青年委員会：地域防災 S                                    | 24日   | 災害対策会議<br>青年委員会：地域防災 S<br>監査                |
| 23日  | 総務委員会                                           | 25日   | 土木部会：役員会                                    |
| 24日  | 土木部会：運営委員会                                      | 28日   | 常任理事会<br>理事会                                |
| 27日  | ボウリング委員会                                        | 30日   | 青年委員会：幹事会                                   |
| 28日  | 青年委員会：幹事会                                       | 5月13日 | B C P 訓練                                    |
| 29日  | 事務担当者説明会<br>土木部会：正副部会長・委員長会議                    | 14日   | 常任理事会                                       |
| 2月5日 | 常任理事会                                           | 16日   | 土木部会：役員会                                    |
| 6日   | 青年委員会：情報発信 S                                    | 23日   | 定時総会<br>役員会：懇親会                             |
| 14日  | 土木部会：正副部会長会議<br>建築部会：全体会                        | 25日   | クリーンビーチいしかわ i n かなざわ                        |
| 17日  | 災害時体制正副班長会議                                     | 28日   | 青年委員会：幹事会                                   |
| 19日  | 金沢市へ B C P 計画提出                                 | 29日   | 建築部会：役員会<br>土木部会：金沢市幹部職員との意見交換会<br>土木部会：役員会 |
| 20日  | 青年委員会：地域防災 S                                    | 6月2日  | 青年委員会：がけ地パトロール                              |
| 25日  | 青年委員会：全体会                                       | 3日    | 青年委員会：地域防災 S<br>土木部会：施工管理委員会                |
| 3月1日 | 県協会ボウリング大会                                      |       |                                             |
| 5日   | テレビ講座                                           |       |                                             |
| 7日   | 奉仕委員会：献血奉仕活動                                    |       |                                             |

- 4日 テレビ講座  
測量コンテスト
- 5日 土木部会：安全対策委員会
- 6日 土木部会：環境・情報委員会
- 9日 土木部会：正副部長会議
- 10日 青年委員会：情報発信S  
土木部会：舗装委員会
- 11日 建築部会：技術安全委員会  
建築部会：住宅環境委員会  
土木部会：金沢市実務担当者との意見交換  
会事前打合せ
- 17日 総務委員会
- 19日 建築部会：全体会  
土木部会：役員会
- 20日 青年委員会：幹事会
- 25日 役員会：視察研修（～29日）
- 27日 第2回中堅・若手（技術）社員研修会
- 29日 青年委員会：森づくり実践活動
- 7月3日 青年委員会：地域防災S
- 4日 土木部会：金沢市実務担当者との  
意見交換会
- 7日 常任理事会
- 8日 青年委員会：情報発信S
- 9日 テレビ講座
- 11日 土木部会：県央土木総合事務所幹部職員  
との意見交換会
- 15日 総務委員会
- 22日 土木部会：全体会
- 23日 青年委員会：技術研究S
- 28日 青年委員会：幹事会
- 29日 総務委員会
- 30日 土木部会：ゴルフ会  
建築部会：現場担当者会議
- 31日 ゴルフ委員会
- 8月5日 青年委員会：地域防災S
- 6日 第3回中堅・若手（技術）社員研修会
- 7日 青年委員会：情報発信S
- 18日 青年委員会：三方良しの公共事業推進  
研究会
- 19日 建築部会：役員会
- 20日 常任理事会
- 26日 奉仕委員会
- 27日 青年委員会：技術研究S
- 28日 青年委員会：幹事会
- 31日 青年委員会：市民防災訓練視察
- 9月2日 青年委員会：地域防災S  
ゴルフ委員会
- 4日 青年委員会：地域防災S  
消火技術競技大会
- 5日 土木部会：役員会
- 9日 建築部会：技術安全委員会
- 10日 テレビ講座
- 11日 青年委員会：情報発信S
- 16日 青年委員会：技術研究S
- 24日 建築部会：金沢市実務担当者との  
意見交換会  
青年委員会：幹事会
- 26日 部会対抗ゴルフ大会
- 30日 土木部会：県中央土木総合事務所実務担当  
者との意見交換会事前打合せ
- 10月7日 青年委員会：情報発信S
- 8日 テレビ講座
- 14日 土木部会：正副部長会議
- 15日 青年委員会：地域防災S
- 16日 青年委員会：技術研究S
- 19日 青年委員会：森づくり実践活動
- 21日 ボウリング委員会  
土木部会：舗装委員会
- 22日 青年委員会：幹事会
- 24日 土木部会：県央土木総合事務所実務  
担当者との意見交換会
- 28日 土木部会：施工管理委員会
- 30日 土木部会：安全対策委員会
- 31日 土木部会：環境・情報委員会  
建築部会：加賀地区視察研修

## 事務局よりのお知らせ

今年、定時総会において、2年毎の役員改選がありました。今総会を契機に退任されました方々には大変お世話になり、誠にありがとうございました。皆様方の今後のご活躍とご健勝を祈念しております。

さて、4月に事務局に大田 茂氏が入局され、5月23日からこれまでの坂戸専務理事の後任として専務理事に就任いたしました。

大田新専務理事は金沢市役所に奉職して以来、長きにわたり土木畑を歩んで来られ、土木技術者として多くの分野を経験しており、そこから得た豊富な知識、知恵を持っています。また、非常に親しみやすい人で、会員の皆様とのいろいろなお話しを楽しみにしています。

会員の皆様方にはこれまでと同様、お気軽に事務局にお越しいただきますよう、事務局員一同お待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

リーズナブルな会費で魅力あるサービスがてんこもり！

今までは…

福利厚生充実したいけど  
お金がかかるよね…

楽しい職場作り  
をしたいけど、  
どうしたら  
いいだろう…



月会費  
1,000円  
で！

これからは…

小さな負担で大きなサービス。  
働く方々、おひとりお一人のために、  
あなたの会社の福利厚生を

金沢市等が  
バックアップ！



充実した  
福利厚生サービス  
が受けられます。

会員様の慶事にお祝い金などを支給！

- ご結婚 20,000円
- お子さんの誕生 10,000円

そのほか、結婚記念・永年勤続等のお祝いや、  
各種見舞金、弔慰金が支給されます。



会員本人と家族3人の計4人が、それぞれ4,000円以上  
のコース料理をオーダーした場合  
●1回で5,000円もお得！



- 宿泊助成金 ・会員2,000円 ・登録家族1,000円
- 代理店バック旅行 3~5%割引

※日帰り特選バスツアーを斡旋するほか、  
社員旅行、忘新年会など社内交流にも助  
成します。

※カルチャースクール・スポーツスクール  
の受講に助成が受けられます。

※指定の美術館や博物館が無料又は割引料  
金で鑑賞できます。

慶弔  
給付

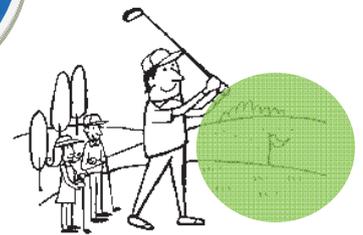
食事  
旅行

映画  
レジャー

健康  
スポーツ

会社が行う定期健康診断や人間ドック  
の受診料などに一部助成があります。

- 人間ドック・脳ドック(会員または配偶者) 5,000円
- 定期健康診断 700円
- インフルエンザ予防接種 1,000円



- 職場の仲間でのゴルフ 1Rあたり 2,000円引き
- 公共のテニスコートやプール 一部半額や無料に！

※日帰り温泉、動物園、水族館、スキー場、スケ  
ート場など指定レジャー施設の利用時に優待割引  
特典があります。

※コンサートチケット等の割引斡旋やパーキン  
グチケット、ゴルフ練習場のプライベートカードも  
センター窓口で割引販売しています。

- 石川県内の映画館に  
て、500~900円で  
ご鑑賞いただけます。



私たちは福利厚生『応援隊』です！

加入のお申し込み・詳しいお問い合わせは

公益財団法人

金沢 勤労者福祉  
サービスセンター

〒920-0022 金沢市北安江3丁目2番20号 金沢勤労者プラザ1F

TEL (076) 234-7871 URL/http://www.k-ksc.jp

